



資
料
編

〔資料編〕

第1章 兵庫教区のおゆみ…………… 資料編 1 (173)

第2章 『御同朋の社会をめざす運動』(実践運動) 総合基本計画・重点プロジェクト

(推進期間2015(平成27)年度から2017(平成29)年度までの3年間)

- ◆総合基本計画 …………… 資料編16 (188)
- ◆スローガン …………… // 17 (189)
- ◆重点プロジェクトについて …………… // 17 (189)

第3章 連研ノートE編 用語集

- ◆起(問い1~2) …………… 資料編19 (191)
- ◆承(問い3~6) …………… // 19 (191)
- ◆転(問い7~10) …………… // 21 (193)
- ◆結(問い11~12) …………… // 28 (200)

第1章 兵庫教区のおゆみ

〔教区の動き〕

● 1876(明治9)年4月5日

宗規綱領制定

宗規綱領が制定され、本山・教区・組の行政組織の原型ができる。この綱領によって江戸時代の本末・上下寺制度が解消された。全国を7大区（本所・東京・愛知・広島・福岡・石川・宮城）とする。兵庫県は本所（本山）直管となる。岡山県は広島寺務出張所所管となる。

● 1880(明治13)年7月

全国に教務所設置

全国を18教区とし、教務所を設置する。姫路教務所を設置し兵庫・岡山両県下の寺院を統轄する。

● 1900(明治33)年

この年、兵庫教区寺院数590カ寺。

● 1907(明治40)年6月

全国を17管区とし、探訪使・副探訪使を分駐させる。

兵庫県下摂津・播磨両国、岡山県を10管区とし神戸山本説教所内に事務所を置く。

兵庫県下丹波・但馬両国、鳥取県を第10管区とし豊岡光行寺内に事務所を置く。

● 1908(明治41)年

全国を5教団に分け、31総班とし、総班制度を制定する。

第3教団第13総班を京都府、兵庫県下多紀・氷上二郡・但馬国とし、大谷本廟に総班事務

〔世界の動向〕

1876

グラハム・ベルが電話機を発明（3/10）
廃刀令発布（3/28）

1880

パナマ運河着工（1/1）
トーマス・エジソンが白熱電球の米国特許を取得（1/27）

1900

治安警察法公布（3/10）
米国オーチス・エレベーター社がエスカレーターを商標登録（5/29）

1907

東京株式相場が暴落し、戦後恐慌が始まる（1/21）
南満州鉄道開業（4/1）

1908

池田菊苗の「グルタミン酸を主要成分とせる調味料製造法」（味の素）が特許登録（7/25）
T型フォード発売開始（10/1）

所を置く。

第4教団第18総班を大阪府下武庫（須磨・山田を除く）・川辺・有馬三郡とし、武庫中学に総班事務所を置く。第4教団第20総班を神戸市・岡山県・兵庫県下播磨・淡路・大阪府下武庫郡内須磨・山田とし、神戸善福寺に総班事務所を置き、別格別院となり、大谷尊由師を住職にむかえる。



● **1914**(大正3)年9月

採訪使制度を廃して、地方自治として管事制度の設置を決定。

同年11月5日

管事事務規程を発布し、全国を29教区とする。

● **1917**(大正6)年1月

木造建築であった別格別院が火災で焼失。



1914

第一次世界大戦（6/28）

パナマ運河開通式（8/15）

● **1921**(大正10)年4月1日

この年、兵庫教区寺院数589カ寺、門信徒戸数57,811戸。

● **1928**(昭和3)年12月13日

京都教区養父組・城崎組・行政区画による組画変更を決定。

● **1930**(昭和5)年

日本初インド仏教様式デザインによる鉄筋寺院の完成。



● **1930**(昭和5)年10月10日

京都教区警行組・三省組・鳳旭組の三組が合併し、氷上組とする。

● **1936**(昭和11)年6月

この年、全国29教区465組、別院49寺院9815、教会20・会館1、説教所(本山立35・私立778)、海外布教所400。このとき、兵庫教区は兵庫

1921

大日本蹴球協会(後の日本サッカー協会)創立(9/10)
浜松市でナウマン象の化石が発掘される

1928

張作霖爆殺事件(満洲某重大事件)(6/4)
緊急勅令で治安維持法改正公布施行(死刑・無期刑を追加)(6/29)
全府県警察部に特別高等警察設置(7/3)
ラジオ体操放送開始(11/1)

1930

インドで、マハトマ・ガンディーと支持者により、イギリスによる塩の専売に抗議する塩の行進開始。(3/12)
第1回FIFAワールドカップ開催(7/13)
浜口雄幸首相狙撃事件(11/14)

1936

神戸モロゾフ洋菓子店が、英字雑誌に日本初のバレンタインチョコレートの広告を出す(2/12)

県（但馬・丹波を除く）と岡山県とで構成され、30組596カ寺、説教所81（本山立4、私立77）、計677カ寺、なお兵庫県下但馬国・丹波国は京都教区に属す。

●1941(昭和16)年

このころ、京都教区の但馬・丹波7組は兵庫教区に編入。

●1950(昭和25)年4月1日

宗則第153号「教区規程」附則施行、現行の教区編成となる。

●1951(昭和26)年10月

この年、兵庫教区38組789カ寺。

二・二六事件勃発（2/26）
国際オリンピック委員会で第12回夏季オリンピック開催地を東京に決定（7/31）

1941

グレン・シーボーグらが、94番元素のプルトニウムを世界で初めて合成（2/23）
太平洋戦争開戦（12/8）

1950

朝鮮戦争勃発（6/25）
金閣寺、放火により焼失（7/2）
自衛隊の前身である警察予備隊が発足（8/10）
マザー・テレサ、神の愛の宣教者会設立（10/7）

1951

第1回NHK紅白歌合戦放送（1/3）
ジョージ・ゲイがヘンリエッタ・ラックスの病理切片を入手。後に世界初のヒト細胞株となるHeLa細胞の素となる（2/8）
日本航空設立（7/31）
日米安全保障条約（旧）（サンフランシスコ条約）締結（9/8）
プロレスの力道山デビュー（10/28）

● 1960(昭和35)年8月29日

別格別院善福寺が本願寺神戸別院となる。
同年10月1日
兵庫教区教務所を本願寺神戸別院内に移転する。



● 1962(昭和37)年

このころ、教区会、初めて組画変更を議す。

● 1982(昭和57)年1月25日

兵庫教区宗政懇談会開催、1/10.付朝日新聞報道も踏まえ、組画変更の早期実施を協議。
同年6月8日
組画変更諮問委員会、設置。
同年11月10日
第73回兵庫教区臨時教区会、諮問委員会提出の「組画変更の趣意書」「組画変更審議会規則」「組画変更の趣意書」の3案を区令として可決。
同年12月24日
第1回組画変更審議会、総会を開催。

1960

日米相互協力及び安全保障条約(新安保条約)調印(1/19)
フランスがサハラ砂漠で初の原爆実験。第4の核保有国となる(2/13)
ソニーが世界初のトランジスタテレビを発売(4/30)
チリ地震発生。翌日、日本でも津波の被害(5/22)

1962

北陸本線北陸トンネルが開通(6/10)
戦後初の国産旅客機YS-11が完成(7/11)
米ケネディ大統領、キューバ海上封鎖を表明(キューバ危機)(10/22)

1982

日本航空350便墜落事故、24人死亡(2/9)
500円硬貨発行(4/1)
フォークランド紛争勃発(4/2)
国鉄のリニアモーターカーが世界初の有人浮上走行実験に成功(9/2)
ソニーが世界初のCDプレーヤー発売(10/1)

● 1984 (昭和59)年8月25日

第4回組画変更審議会、兵庫教区組画変更に関する答申書を可決。

組画変更審議会、「兵庫教区組画変更に関する答申書」を兵庫教区教務所長に提出。

同年9月14日

第77回兵庫教区臨時教区会、第1号議案兵庫教区組画変更の件、第2号議案兵庫教区組名変更の件、

第3号議案兵庫教区組画変更施行の件、を可決。

● 1985 (昭和60)年4月1日

兵庫教区新組画発足、記念式典挙行。39組776カ寺の新組画となる。

● 1990 (平成2)年11月7日

おんどうぼうそうけっしゅうたいかい
兵庫教区御同朋総結集大会

第1回の「兵庫教区御同朋総結集大会」

神戸ポートアイランドホールで、6,724が参加し開催される。

1984

米アップルコンピュータがマッキントッシュを発表 (1/24)

植村直己がマッキンリー山の単独登頂に成功 (翌日、下山途中で消息不明に) (2/12)

江崎グリコ社長誘拐(グリコ・森永事件の発端) (3/18)

スペースシャトルディスカバリー、初の打ち上げに成功 (8/30)

インド首相、インディラ・ガンジー暗殺 (10/31)

1985

日本電信電話公社が日本電信電話株式会社 (NTT) に、日本専売公社が日本たばこ産業株式会社 (JT) に民営化 (4/1) 初の日本人宇宙飛行士として土井隆雄、内藤千秋、毛利衛が決定 (8/7)

日本航空123便が群馬県多野郡上野村の高天原山 (御巢鷹の尾根) に墜落 (8/12)

大西洋で沈没したタイタニック号の船体を発見 (9/1)

1990

第1回大学入試センター試験実施 (1/13)

大阪市で国際花と緑の博覧会が開幕 (4/1)

ハッブル宇宙望遠鏡が軌道に設置される (4/24)

アルベルト・フジモリがペルーの大統領に就任 (7/28)

バブル崩壊

● 1992(平成4)年8月31日

本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立、総合復興計画に関するご消息披露が神戸別院で開催。

● 1993(平成5)年10月15日

旧・本願寺神戸別院解体を前に、本堂で「ご遷仏法要」を厳修する。

● 1995(平成7)年1月17日、午前5時46分

阪神・淡路大震災発生する。震度7を記録し神戸・西宮など大都市を襲い、死亡犠牲者が5千人を超え、被災者30万人を超える大惨事となる。教区内寺院の被害は236カ寺、内本堂全焼4、全壊36カ寺にもなった。

同年4月22日

「兵庫教区阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」を成徳学園高等学校（神戸市中央区）の講堂にて、大谷範子お裏方様のご臨席のもと厳修する。

同年9月20日

本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成、入仏法要と竣工式を開催する。

1992

ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争始まる（4/7）

毛利衛がスペースシャトル・エンデバーに搭乗し、宇宙空間に向けて出発（9/12）

10月の有効求人倍率が1.0を下回り、この後13年2ヶ月にわたる就職氷河期となる

1993

大相撲の曙が外国人力士として初めて横綱に昇進（1/27）

Jリーグ開幕（5/15）

北海道南西沖地震（7/12）

法隆寺、姫路城、屋久島、白神山地が、日本での初の世界遺産登録（12/9）

1995

今年の漢字『震』阪神・淡路大震災や、オウム真理教事件、金融機関などの崩壊に“震えた”年。

世界貿易機関（WTO）発足（1/1）

地下鉄サリン事件（3/20）

高速増殖原型炉「もんじゅ」のナトリウム漏洩事故（12/8）

● 1996(平成8)年10月18日~20日

**本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成
記念慶讃御親修法要**

3日間、即如ご門主をお迎えして別院本堂で4座、4千人の門信徒が参集して営まれた。



● 1997(平成9)年10月24日・25日

第2回兵庫教区御同朋総結集大会

JR神戸駅南に位置する神戸国際会館ハーバランドプラザで3千名が参加し開催される。

1996

今年の漢字『食』0-157食中毒事件や狂犬病の発生、税金と福祉を「食いもの」にした汚職事件の多発。

世界初のクローン羊『ドリー』がスコットランドで生まれる(7/5)

腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒発生(7/13)

1997

今年の漢字『倒』山一証券など大型倒産の続出や、サッカー日本代表が並みいる強豪を倒してワールドカップ初出場決定。

ナホトカ号重油流出事故(1/2)
神戸連続児童殺傷事件(通称・酒鬼薔薇事件)(2/19)

最高裁が愛媛県靖国神社玉串訴訟で違憲の判決(4/2)

ペルー日本大使公邸占拠事件(4/22)

香港返還(7/1)

ダイアナ元英皇太子妃事故死(8/31)

マザー・テレサ死去(9/5)

山一証券破綻(11/22)

地球温暖化防止京都会議開幕。京都議定書が採択(12/1)

介護保険法公布(12/7)

● 2001 (平成13)年9月5日

**兵庫教区御同朋結集二千人大会・同朋運動
五十周年記念大会**

神戸国際会館（三宮）に2000人が集り、開催。
この大会は2002・2003年に各組の結集大会、2004年10月31日の教区総結集一万人大会をめざす大会とした。



● 2004 (平成16)年10月31日

兵庫教区 御同朋総結集一万人大会

神戸ウイングスタジアムに、大谷光淳新門様（当時）ご臨席のもと、教区内僧侶・門信徒1万3千人が集い盛大に開催。



2001

今年の漢字『戦』 米国同時多発テロ事件で世界情勢が一変して、対テロ戦争、炭そ菌との戦い、世界的な不況との戦いなど。

えひめ丸事故（2/9）

附属池田小事件（6/8）

アメリカ同時多発テロ事件（9/11）

アメリカ軍によるアフガニスタン侵攻開始（10/7）

2004

今年の漢字『災』 台風、地震、豪雨、猛暑などの相次ぐ天災。イラクで人質殺害や子供の殺人事件、美浜原発の蒸気噴出事故、目を覆うような人災が多発。「災い転じて福となす」との思いも込めて。

自衛隊イラク派遣開始（1/19）

沖国大米軍ヘリ墜落事件(8/13)

新紙幣発行。5千円札が樋口一葉、千円札が野口英世に（11/1）

国内で鳥インフルエンザの感染が公式に確認（12/22）

● 2007 (平成19)年10月1日-5日

**親鸞聖人750回大遠忌法要お待ち受け
全寺院総代総参拝**

教区内寺院の総代1,300名(各寺院約2名)が参拝。



● 2008 (平成20)年9月29日-10月3日

**親鸞聖人750回大遠忌法要お待ち受け
全寺院寺族婦人・仏教婦人総参拝**

教区内寺院の寺族婦人・仏教婦人1,900名が参拝。

※決意表明では、『現生正定聚』のみ教えを聞き、いま、まさに、仏の智慧を得た仲間として、このご勝縁しょうえんを慶ばせていただき次世代に伝え、御同朋の社会の実現に向けて現代社会に応える宗門の護持発展に一丸となって邁進することが決意された。

11月2日

第19回全国仏教壮年 兵庫大会

即如そくじよご門主ご臨席のもと、ポートアイランドのワールド記念ホールを会場に全国から4,500名にも及ぶ仏教壮年が結集。兵庫教区から全体の半数を超える2,300名が参加。



2007

今年の漢字『偽』身近な食品から政界、スポーツ選手にまで、次々と「偽」が発覚して、何を信じたら良いのか、わからなくなった一年。

消えた年金問題(2月)

参院選で自民党が歴史的惨敗(7/29)

米サブプライム問題で世界の経済・金融に混乱(8月)

2008

今年の漢字『変』日米の政界に起こった変化や世界的な金融情勢の変動、食の安全性に対する意識の変化、物価の上昇による生活の変化、世界的規模の気候異変など様々な変化を感じた年。

中国製冷凍ギョーザ事件

四川地震(4/20)

リーマン・ショック(9/15)

後期高齢者医療制度開始(4/1)

● 2008(平成20)年12月18日

ながしまあいせいえん おく こうみょうえん
長島愛生園・邑久光明園西本願寺会館50周年記念の集い～差別解消に向けての決意を新たに～

長島愛生園・邑久光明園西本願寺会館50周年記念の集いを差別解消に向けての決意を新たにするため開催。法要では即如ご門主様が、かねてから療養所入所者から希望であった帰敬式を行われ、お言葉で「み教えの大事な点はすべての人が分け隔てなく救われることにあります。御同朋・御同行として今日の社会問題に光を当てる大切な意味がある。(ハンセン病問題への)理解は、進んでいるが課題が多くあります。少しでも前進できることを願う」と述べられた。



● 2009(平成21)年9月30日から10月4日

親鸞聖人750回大遠忌法要お待ち受け 仏教壮年・門推総参拝

教区内寺院の2仏教壮年・門徒推進員1,400名が参拝。

2009

今年の漢字『新』さまざまな「新しいこと」に期待し、恐怖を感じ、希望を抱いた一年。世の中が新たな一歩を踏み出した今、新しい時代に期待したい。

バラク・オバマ氏大統領就任(1/20)

裁判員裁判がスタート(8/6)

衆院選で民主党圧勝(8/30)

新型インフルエンザ大流行

● **2010**(平成22)年5月26日

**「兵庫教区・本願寺神戸別院大遠忌長期計画
五木寛之氏 記念講演」**

神戸国際会館こくさいホールにおいて、作家の五木寛之さんを講師として「兵庫教区・本願寺神戸別院 大遠忌長期計画記念講演」が開催。参加対象をこれまで浄土真宗とあまりご縁が無かった方を対象とし、一般広報にて告知をしての講演、1,140名が参加。

8月22-23日

親鸞聖人750回大遠忌法要 子どもの集い

次世代にみ教えを伝えていく取り組みとして寺族婦人会・仏教婦人会・仏教壮年会連盟・少年連盟・青年僧侶の会の協力していただき本願寺神戸別院を会場に「親鸞聖人750回大遠忌法要 子どもの集い」が開催され幼少年が別院に集い、子どもたちみんなであみださまに手を合わせお勤めし、ご法話を聞き、アトラクションでは、影絵劇やふれあい動物園などを楽しみました。

9月30日～10月8日

**兵庫教区・本願寺神戸別院 親鸞聖人750回
大遠忌**

9月30日、本願寺神戸別院本堂を会場に、「兵庫教区・本願寺神戸別院 親鸞聖人750回大遠忌法要並びに別院改築らっけいほうちく落慶奉告法要」が即如ご門主の御親修で修行され、法要後、引き続き御親教をいただいた。10月1日から8日(4日を除く)かけて7日間、「兵庫教区・本願寺神戸別院 親鸞聖人750回大遠忌」が修行。

9月30日
～10月8
日までの8
日間の参拝
4,200名
を超えた。



2010

今年の漢字『暑』夏の全国の平均気温が観測史上最高を記録して、熱中症にかかる人が続出。また、チリ鉱山事故で暑い地中から作業員全員が無事に生還。

小惑星イトカワから「はやぶさ」が帰還(6月)

参院選挙で民主党が大敗(7/12)

尖閣諸島中国漁船衝突事件(9/7)

チリ鉱山落盤事故。69日ぶり作業員33人全員を救助(10/14)

●2011(平成23)年1月17日

阪神・淡路大震災17回忌物故者総追悼法要

出勤を各組に依頼して法要修行され、また震災を経験していない世代の宗門関係学校の学生の震災やいのちについて書かれた作文が朗読され、震災の記憶を風化させることなく、いのちを問い直す法要となった。

7月5-6日

邑久光明園・長島愛生園西本願寺会館

ビハーラ兵庫・十方会 親鸞聖人750回大遠忌法要並びに一泊研修会

ビハーラ兵庫・十方会両会員と、両園の入所者57名参拝し法要と交流会が行われた。

●2012(平成24)年3月14日

御同朋の社会をめざす法要

本願寺神戸別院本堂を会場に教区内僧侶・門信徒200名出席のもと、兵庫教区『御同朋の社会をめざす法要』決意表明が読み上げられ、御同朋の社会の実現をめざしてより一層努力する決意を新たにしました。

9月4日

親鸞聖人750回大遠忌法要記念公演 親鸞わがころのアジャセ

神戸文化ホールを会場に、2000名を超える聴衆が舞台を楽しんだ。

2011

今年の漢字『絆』東日本大震災をはじめとした大規模災害により身近でかけがえのない人との絆をあらためて知る。なでしこジャパンのチームの絆にも感動。

東日本大震災(3/11)

東電福島第1原発事故(3/11)

東電が初の計画停電(3/14)

米特殊部隊がビンラディン氏を殺害(5/2)

サッカー女子W杯、なでしこジャパン世界一(7/17)

2012

今年の漢字『金』『金』に関する天文現象の当たり年。数多くの「金」字塔が打ち立てられた1年。「金(かね)」をめぐる問題が表面化。

東京スカイツリー竣工(2/29)

金正恩が朝鮮労働党の第一書記に就任(4/11)

北太平洋上を中心に、中国、日本、アメリカなどで金環日食を観測(5/20)

ロンドンオリンピック(7/27)

ボイジャー1号が太陽圏を離脱した初めての人工物となる(8/25)

中国全土で尖閣諸島国有化に反発して反日デモが発生する(9/15)

パキスタンにて少女マララ・ユサフザイが銃撃される。後にタリバンが犯行声明を出した(10/9)

● **2013**(平成25)年7月23日(火)~25日(木)<2泊3日>

第50回兵庫教区少年連盟サマースクール
兵庫教区少年教化活動50周年の年になり教区外での開催とし、鹿児島教区少年連盟の子ども達とも交流しました。



● **2014**(平成26)年2月6日

兵庫教区少年連盟 少年教化活動50周年記念式典・物故者総追悼法要並びに祝賀の集い
本願寺神戸別院本堂を会場に記念式典が行われ、歴代の関係者が集うと同時に物故者総追悼法要を厳修



2013

今年の漢字『輪』日本中が「輪」になって歓喜にわいた年。人とのつながりの「輪」を感じた1年。未来に向けた更なる「輪」を実感、注目。
アルジェリア人質事件 (1/16)
ロシアウラル地方チェリャビンスク州で隕石落下 (2/15)
朴槿恵が韓国初の女性大統領として就任 (2/25)
ホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿が266代ローマ教皇に選出 (3/13)
米国ボストンマラソン爆弾テロ事件 (4/15)
三浦雄一郎がエベレストに史上最高齢(80歳7ヶ月)で登頂成功 (5/23)
2020年夏季オリンピックの開催都市が日本の東京に決定 (9/7)

2014

今年の漢字『税』消費「税」率が17年ぶりに引き上げられ「税」について考えさせられた年。「税」に関わる話題が政財界で多く取り沙汰された1年。
ソチオリンピック開催 (2/7)
マレーシア航空370便がタイ湾トーチュー島付近で消息を絶つ (3/8)
ロシアのプーチン大統領がクリミア自治共和国の編入を表明 (3/18)
Windows XPのサポート期間終了 (4/9)

● 2014(平成26)年3月29日

兵庫教区自死者追悼法要～みほとけに抱かれて～

兵庫教区として初めて自死者の追悼法要が行われ、自死遺族20名が参拝された。



10月22日

『法統継承に際しての消息』披露・趣旨演達並びに総局巡回

本願寺神戸別院本堂を会場に教区内僧侶・門信徒106名出席のもと、ご消息披露・趣旨演達が行われた。



● 2015(平成27)年1月17日

震災20年 阪神・淡路大震災物故者総追悼法要

出勤を各組に依頼して法要修行され、今後の全寺院を対象とした安否確認メールなどのネットワークや災害時の食料備蓄など兵庫教区震災支援の取り組みが報告された。



韓国のクルーズ旅客船「セウォール号」が沈没（4/16）
 タイ軍がクーデターを宣言。
 憲法を停止（5/22）
 ウクライナ・ドネツク近郊で、
 マレーシア航空ボーイング
 777が撃墜される（7/17）
 世界保健機構が西アフリカ諸
 国でのエボラ出血熱の感染拡大
 をうけ、「国際的に懸念される
 公衆衛生上の緊急事態」を
 宣言（8/8）
 スコットランドでイギリスから
 の独立を問う住民投票を実施
 （9/18）
 香港で雨傘革命（2014年香
 港反政府デモ）が起きる
 （9/28）

2015

パリの政治週刊紙「シャルリー・エブド」本社がイスラム過激派の男2人により銃撃される（1/7）
 アメリカ合衆国のバラク・オバマ大統領とキューバのラウル・カストロ国家評議会議長が直接対談（4/11）
 ネパール大地震（4/26）

第2章 『御同朋の社会をめざす運動』(実践運動) 総合基本計画・重点プロジェクト

1. 総合基本計画

宗門では、1986(昭和61)年より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ、「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)」を進めてまいりました。全員聞法・全員伝道を提唱する門信徒会運動では、教化団体の活性化や門徒推進員の養成などを通して、組・教区活動を活発化させてきました。また、同朋運動は、私と教団のあり方を問い、差別・被差別からの解放をめざすことを通して、人々の苦悩に向き合う活動を充実させてきました。

その成果をもとに、さらに教えを宗門内外に広く伝えていくこと、また従来の枠組みを超えた多様な活動を、より広く実践していくことをめざし、宗門では、2012(平成24)年4月から、運動名称を「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と改め、基幹運動の成果を踏まえた宗門全体の活動として進めています。

『仏説無量寿経』には、あらゆる世界に生きるすべてのいのちあるものが、阿弥陀さまのはたらきによって分け隔てなく救われていくことが示されています。生きとし生けるものすべてを等しくいつくしむ大慈悲が阿弥陀さまの救いのはたらきです。

その阿弥陀さまの救いをよりどころとして、宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中にあって、ともにお念仏を喜ぶ仲間を「とも同朋」「御同行」と呼び、苦悩を抱える人々とともに生き抜かれました。私たちの先人はそのお心を受け、「御同朋・御同行」と互いに敬愛し、み教えをまもり広めていこうと努めてこられました。

阿弥陀さまの慈悲に包まれ、智慧に照らされている者どうしであることを自覚しつつ、人々と苦悩をともにされた親鸞聖人のお姿を鑑として、互いに支え合って、苦しみや悲しみの世界を生き抜いていくことこそが、私たち念仏者のあり方といえます。

宗門では、親鸞聖人750回大遠忌法要を迎えるにあたり、最高法規である『宗制』と『宗法』の中に、宗門のあり方を明確にしました。その『宗制』には、「本宗門は、その教えによって、本願名号を聞信し念仏する人々の同朋教団であり、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するものである」と記されています。

専如門主は、「伝灯奉告法要についての消息」において「私たちは、凡愚のまま摂め取って捨てないとはたらき続けてくださる阿弥陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。まさにこのような宮みの先にこそ、『自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する』道が拓かれていく

のでありましょう」とお示しいただきました。また即如門主（前門）は、「親鸞聖人750回大遠忌法要御満座を機縁として『新たな始まり』を期する消息」において「凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも『世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ』と、精一杯努力させていただきます」とお示しいただいています。

これらのご消息にお示しの通り、ご縁の中に生きる私たちは、我が身の無力さと愚かさを顧みつつも、人々の苦悩や現実の課題を直視する中で、念仏者として日々の実践を行っていくのです。

専如門主は、「法統継承に際しての消息」において『『自信教人信』のお言葉をいただき、現代の苦悩をともに背負い、御同朋の社会をめざして皆様と歩んでまいりたい』とお示しになりました。現代の苦悩をともに背負っていくには、変化の速い時代に生きる者として、変わることをない教義に基づき、過去の歴史に学びながら、人々の悲しみや現実の苦悩への眼差しを養うことが大切です。また、現代社会は、人と人との関わりが希薄になり、人々は様々な価値観の違いにより、互いに対立し時に傷付け合っています。私たち念仏者は、立場の違いを認めつつ、誰もが排除されることのない社会をめざしていく中に、御同朋の社会を具現化していくものであります。

現代社会に生きる私たちには、災害支援、エネルギーや環境問題、経済格差、自死・過疎・少子高齢化などの社会問題があり、さらには、依然として非戦平和や人権・差別の問題が課題としてあります。また、布教伝道の課題としては、子ども・若者へのご縁づくりや国際的な伝道、伝統的社会の変化による教えを継承することの難しさ、葬儀の簡略化などの課題に直面しています。こうした山積する課題に立ち向かっていく具体的な実践によってこそ、『宗制』に定められた「自他共に心豊かに生きることのできる社会」が実現されていくのです。

私たちは、御同朋の社会をめざして、み教えを力とし、宗門の英知を結集しながら、未来を創造的にひらいていく運動を進めてまいりましょう。

2. スローガン

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の主旨を簡潔に表したスローガンを掲げます。

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

3. 重点プロジェクトについて

(1) 重点プロジェクト

「重点プロジェクト」は、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。

変化の速度が著しい時代状況の中、宗門が「重点的」に取り組むべき社会的課題

も変化します。変化する時代状況を踏まえ、社会への具体的な貢献をめざし、年限を決めて実践されるのが「重点プロジェクト」です。

その特徴は、門信徒、僧侶、寺族、そして寺院やさまざまな団体が、それぞれの特性に応じて、独自に「実践目標」を定めて、活動を推進していくところにあります。

重点プロジェクト推進室では、こうした活動に対して、情報提供などの支援を行います。各活動主体のさまざまな取り組み、各地の実践事例を提供いただき、それを集約、発信します。

「重点プロジェクト」では、宗門のあらゆる人々が実践事例を有機的に結びつけ、課題を共有しつつ、計画的に推進することにより、宗門全体の活動がより充実したものとなるよう展開していきます。

(2) 推進期間

2015（平成 27）年度から 2017（平成 29）年度までの 3 年間

(3) 参考資料

『実践事例集』

以上

- ※ 1. 「重点プロジェクト」は「実践目標」を掲げて取り組むものですが、これ以外にも、決められた年限によらず、さまざまな課題に対して独自に「目標」を掲げて取り組むこともできます。
- ※ 2. 2012（平成 24）年度は、実動初年度にあたり「宗門の課題リスト」を提示し、それぞれで実践目標を設定する参考資料としていただきましたが、このたびは、「宗門の課題リスト」を示さず、これまでの実績や『実践事例集』などを参考に、それぞれ主体的に取り組むものとしします。

第3章 連研ノートE編 用語集

◆起

(葬儀：問い2)

仏壇

作法編 4 頁参照

葬儀

作法編 18 頁参照

法事

作法編 27 頁参照

家族葬

近親者やごく親しい友人などの身内のみで行う葬儀のこと

(大辞林)

◆承

(生死：問い3 浄土と神：問い4～6)

看取り

病人のそばにいて世話をすること。また、死期まで見守り看病すること。看護。

(大辞林)

浄土

教義編 親鸞聖人とその教え 16 頁参照

神

①人間を超越した威力を持つ、かくれた存在。人知を以ってをはかることのできぬ能力を持ち、人類に禍福を降ろすと考えられる威霊。人間が畏怖し、また信仰の対象とするもの。

②日本の神話に登場する人格神。③最高の支配者。天皇。④神社などに奉祀される霊。

⑤人間に危害を及ぼし、怖れられているもの。④雷。なるかみ⑤虎・狼・蛇など ⑥キリスト教で、宇宙を創造して支配する、全知全能の絶対者。上帝。天帝。

(広辞苑)

仏

①悟りを得た者。仏陀②仏像。また仏の名号③仏法④死者またはその霊。⑤仏事を営むこと⑥ほとけのように慈悲心の厚い人。転じて、お人よし。⑦大切に思う人。

信教の自由

- ①信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。
 ②何人も、宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することを強制されない。
 ③国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない
 (日本国憲法 第 20 条)

運勢

運・不運のめぐりあわせ。運命。
 (広辞苑)

占い

うらなうこと。占象によって、神意しんいを問い、未来の吉凶きききょうを判断・予想すること。また、それを業ごうとする人。※占象：占いの結果が現れたかたち
 (広辞苑)

靈感商法

単なるつぼや印鑑・置き物などに、あたかも超自然的な霊力があるように、言葉たくみに思わせて、不当に高い値段で売り込む商法。
 (警視庁HP)

カルト

カルト (cult) は、ラテン語の cultus (耕作、養育、教養、尊敬、祭祀さいし) に由来する語源と英語 (米語) で、ランダムハウスの英語辞典にはおおよそ、①宗教的崇拜や儀式 (原義) ②人や物事への熱狂 (派生的用法) ③崇拜者の群れ、邪教視された教団 (神学者の用法) ④カリスマ的教祖とゆるやかな組織を有する新宗教運動 (社会学者の用法) ⑤人権を侵害し、社会秩序を破壊する組織への標識 (メディアの用法) といった意味や用法が列記されている。なお、③ - ⑤の宗教団体を示す場合、ヨーロッパでは、セクト (sect, secte, secta, Sekte) という。
 (よくわかる宗教社会学 櫻井義秀編著 「カルト問題」より引用)

パンフ「学園生活を後悔しないために -カルト勧誘にご注意を-

正体を隠した勧誘により、人の労力と財産を奪って教祖などトップの野心を満足させたり、組織の勢力を拡大しようとしたりする団体のことをいいます。



カルトによる被害

サークルに入会

勧誘によりサークルに入会。サークル内で友人・先輩ができます。

カルト団体の本来の活動に誘われます

・閉鎖的な環境で、指導者の思想だけが与えられます。

- ・ 高額の献金が強要され、大きな経済的負担を負わされます。
- ・ 団体の活動への参加が強要され、かなりの時間が失われます。
- ・ 献金・活動について教祖などトップの思い通りにできなかった場合、虐待をうけます。
- ・ 例え「これは危ない…」と自覚が芽生えても、今までの人間関係等もあり、後戻りできなくなります。

【脱会後の後遺症（例）】

- ・ カルト団体で受けた恐怖観念に縛られ、日常生活に支障をきたす。
- ・ 常に指示され行動してきたため、自分で判断できなくなり、指示してくれる人を探す。（指示依存症）
- ・ 判断を迫ると思考停止し、パニック症候がでる。
- ・ はっきり断ることができない。正当な自己主張ができない。
- ・ いい人・悪い人を極端に分けて考える。
- ・ 家族に対するマイナスイメージが残存する。
- ・ 都合が悪くなると、とりあえず回避するため嘘をつく。

カルトは…

- ・ あなたの人格を破壊します
- ・ あなたとあなたの家族との関係を破壊します
- ・ あなたの社会復帰を困難にします

（龍谷総合学園パンフレット）

◆転

（自分と社会の関わり：問7～10）

自死

自死（自殺）者数は、2012（平成24）年前年比、9%減少で、15年ぶりに年間3万人台を割り、13年には、2,7283人。自治体がうつ病患者の早期発見による自死予防に取り組む。自死は、古くは「自由意思により選択された死」とみられたが、実態は、さまざまな事情で、精神疾患をとまなう「追いこまれた死」であり、自死遺族への偏見のない支援が重要である。

（現代用語の基礎知識）

現在、「自殺」と言葉を、多くの自治体において「自死」という表現に変えています。それは、自殺をされた方のご遺族の連絡会や自死問題に取り組む団体などから、「自ら殺す」という意味となり「(生きてくても生きれない人がいるのに) 命を粗末にした」「勝手に死んだ」等、自らを殺した殺人者のような印象をもつ表現であり、使わないでほしいという要望あるためです。そのため経済的な理由や健康上問題など様々な理由から、追い込まれて自ら命を絶つしかなかったという意味である「自死」という言葉に変える取り組みがおこなわれています。

差別・部落差別

連研ノート E 編 14 頁参照

因縁 (いんねん)

いん えん
因と縁。結果をもたらす直接原因 (因) と間接原因または条件 (縁)。すべての存在は因と縁によって生じて存在し、また、因縁によって滅するものとする。このような因縁によって事柄が生起することを因縁生とも縁起ともいう。

(註釈版聖典 巻末註)

国籍・民族差別

連研ノート E 編 14 頁参照

いじめ

いじめること。特に学校で、弱い立場の生徒を肉体的にまたは、精神的に痛めつけること。

(広辞苑)

性・ジェンダー (gender)

「セックス」が、性的な欲望に関連し、生物学的な性を示すものであるのに対して、ジェンダーは、性的欲望と切り離して性差を考えるとときに使われる。ジェンダーは、文法用語では、名詞の性を区別するときに使われた術語 (学術語・専門用語) であり、その意味では、性的な欲望とは無関係な概念である。

「ジェンダー・フリー」とは、男女とも可能性を制限するような固定的な性的意識に縛られず、性別ではなく、自己の可能性を最大限発揮できることを目指す考え方。

(現代用語の基礎知識)

障がい者差別

「障害者差別解消法」障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の通称で、2013 (平成 25) 年に成立、16 年の施行予定。障害を理由にした不当な差別的取扱いを解消し、分け隔てない共生社会を実現することを目的とする。2006 (平成 18) 年に国連で、採択された障害者の権利に関する条約の批准に必要な国内の法整備の一環である。法は、国や自治体など公的機関には障害者への合理的配慮を法定義務としている。一方で、民間は努力義務にとどまるが違反した場合には監督庁から指導を受けることになっている。

(現代用語の基礎知識)

ハンセン病問題

ハンセン病について

ハンセン病は、「らい菌」という細菌に感染することによって引き起こされる慢性的病気で、主に末梢神経と皮膚が侵されるために治療が遅れると手足や顔面などに変形などの後遺症を残すことがありました。人類はこの病気に長い間苦しめられてきまし

たが、公衆衛生の改善や良い治療薬の登場などにより、現在の日本では非常に希なものとなりましたし、もし感染しても皮膚科などへの外来通院で完治できる病気になりました。

ハンセン病が持つもう一つの側面は、様々な偏見や差別など、人権に関わる歴史を背負っていることです。これらは、私達一人一人が向き合っていかなければならない大切な問題を提起しています。

(日本ハンセン病学会)

宗派の見解

『「ハンセン病国家賠償訴訟地裁判決」に対する国の控訴の断念を求める要請』

内閣総理大臣 小泉 純一郎 様

厚生労働大臣 坂口 力 様

法務大臣 森山 真弓 様

「ハンセン病国家賠償訴訟地裁判決」に対する国の控訴の断念を求める要請

23日、政府は国に賠償を求めるハンセン病訴訟熊本地裁判決に対し控訴を断念する決定を発表されました。私たちはこれまでに、地裁判決以降、政府に対して控訴を断念するよう要請してきましたが、この政府の英断に心より敬意を表するものであります。今後は、この決定を受け、政府が患者、元患者の方がたはもちろんすべての人びとの願いを具体的に解決する施策等を、一刻もはやく講じられるよう要望いたします。

ハンセン病に対する法的措置は、患者の方がたに苦しみを与えるだけでなく、患者や家族、また周囲の人びとに偏見と差別という苦悩を与えてきました。私たちもこの苦悩を共有するどころかそれを助長する過ちを犯してきました。

政府の英断の報に接し、あらためて、私たちも同じ過ちを繰り返すことのないように学びを進めていく決意を表明するものであります。そして、すべての人びとがハンセン病の偏見と差別から解放される御同朋の社会の実現をめざして歩む所存であります。

以上

2001年5月21日

浄土真宗本願寺派

基幹運動本部長 不二川 公勝 (当時)

ハンセン病問題の早期かつ全面的解決に向けての内閣総理大臣談話

平成13年5月25日

去る5月11日の熊本地方裁判所におけるハンセン病国家賠償請求訴訟について、私は、ハンセン病対策の歴史と、患者・元患者の皆さんが強いられてきた幾多の苦痛と苦難に思いを致し、極めて異例の判断ではありますが、敢えて控訴を行わない旨の決定をいたしました。

今回の判断にあたって、私は、内閣総理大臣として、また現代に生きる一人の人間として、長い歴史の中で患者・元患者の皆さんが経験してきた様々な苦しみにどのように応えていくことができるのか、名誉回復をどのようにして実現できるのか、真剣に考えてまいりました。

わが国においてかつて採られたハンセン病患者に対する施設入所政策が、多くの患者の人権に対する大きな制限、制約となったこと、また、一般社会において極めて厳しい偏見、差別が存在してきた事実を深刻に受け止め、患者・元患者が強いられてきた苦痛と苦難に対し、政府として深く反省し、率直にお詫びを申し上げるとともに、多くの苦しみと無念の中で亡くなられた方々に哀悼の念を捧げるものです。

今回の判決は、ハンセン病問題の重要性を改めて国民に明らかにし、その解決を促した点において高く評価できるものですが、他方で本判決には、国会議員の立法活動に関する判断や民法の解釈など、国政の基本的なあり方にかかわるいくつかの重大な法律上の問題点があり、本来であれば、政府としては、控訴の手続きを採り、これらの問題点について上級審の判断を仰ぐこととせざるを得ないところです。

しかしながら、ハンセン病訴訟は、本件以外にも東京・岡山など多数の訴訟が提起されています。また、全国には数千人に及ぶ訴訟を提起していない患者・元患者の方々もおられます。さらに患者・元患者の方々には既に高齢になっておられます。

こういったことを総合的に考え、ハンセン病問題については、できる限り早期に、そして全面的な解決を図ることが、今最も必要なことであると判断するに至りました。

このようなことから、政府としては、本判決の法律上の問題点について政府の立場を明らかにする政府声明を発表し、本判決についての控訴は行わず、本件原告の方々のみならず、また各地の訴訟への参加・不参加を問わず、全国の患者・元患者の方々全員を対象とした、以下のような統一した対応を行うことにより、ハンセン病問題の早期かつ全面的な解決を図ることといたしました。

(1) 今回の判決の認容額を基準として、訴訟への参加・不参加を問わず、全国の患者・元患者全員を対象とした新たな補償を立法措置により講じることとし、このための検討を早急に開始する。

(2) 名誉回復及び福祉増進のために可能な限りの措置を講ずる。具体的には、患者・元患者から要望のある退所者給与金（年金）の創設、ハンセン病資料館の充実、名誉回復のための啓発事業などの施策の実現について早急に検討を進める。

(3) 患者・元患者の抱えている様々な問題について話し合い、問題の解決を図るための患者・元患者と厚生労働省との間の協議の場を設ける。

らい予防法が廃止されて五年が経過していますが、過去の歴史は消えるものではありません。また、患者・元患者の方々の失われた時間も取り戻すことができるものではありませんが、政府としては、ハンセン病問題の解決に向けて全力を尽くす決意であることを、ここで改めて表明いたします。

同時にハンセン病問題を解決していくためには、政府の取組はもとより、国民一人

一人がこの問題を真剣に受け止め、過去の歴史に目を向け、将来に向けて努力をしていくことが必要です。

私は、今回の判決を契機に、ハンセン病問題に関する国民の理解が一層深まることを切に希望いたします。

環境問題

「大気汚染」

大気の汚染は、大都市とその周辺地や工業地帯においては、大変深刻な問題であり、汚染の範囲は全国に広がりつつあります。

大気汚染は空気中に、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物や煤煙、粉塵などが、一定の水準よりも増えることを指します。特に大量に石油製品やガス等を使い、燃焼させることによって発生し、それと共に増え続ける自動車や航空機の排ガスの影響も大きいものがあります。

目先の利益と便利さに目を奪われ、世界でもっとも贅沢な生活をしている日本人は、石油、天然ガス、木材等の限りある資源を、開発途上国からかき集め、日々それを浪費してきました。

例えば冷蔵庫、クーラー、スプレー、などに使われたフロンガスは成層圏に達して、地球の保護膜といえるオゾン層に穴を開け、地表に紫外線を増加させ、また石油、ガスの燃焼によって二酸化炭素の激増は、フロンガスと共に地球の温暖化を進行させています。また窒素酸化物は光化学スモッグを多発し、硫黄酸化物と共に喘息や気管支炎の呼吸器疾患を蔓延させています。

1965年以降の工場地帯の周辺の松枯れは、松食い虫より亜硫酸ガスの影響と云うことがはっきりし、昨今のスギ花粉症も、窒素酸化物と粉塵が主犯という説が強くなってまいりました。またこれらの各酸化物が雨（霧）に混入すると酸性雨となり、森林の枯死や湖沼生物の死滅や、コンクリート建造物の溶解を起こしています。

またリゾート開発（ゴルフ場、スキー場等）や山林の宅地開発等によって、植物群の大気の浄化機能を大幅に減らしてしまっていることも忘れてはなりません。

「水質汚濁」

大気汚染と並び湖、河川、海の水質汚濁が進行しています。言うまでもなくその原因の多くは各種の工場の排水であり、人口密集地の家庭排水であり、農薬の混じった農業用水がそれにプラスされ、したがって汚濁の内容も多様になってきました。

工場排水の場合、水俣病やイタイイタイ病の原因となった有機水銀やカドミウム、クロムといった有害重金属やPCB、ダイオキシン、クロロエチレンといった塩化物は、水の汚れを大きくし、特に有機塩化物や、強酸性、強アルカリ性は浄化や分解を困難にしており、工業生産を行なう側が排出ルールを守らないととんでもないこととなります。

また東京湾の6割以上、伊勢湾や瀬戸内海は5割以上が、汚染の発生源は家庭排水によるものといわれます。家庭排水では台所排水、洗濯污水、風呂の湯など、その正体は分かっていますが、その中で合成洗剤（シャンプーを含む）や漂白剤は、自然界でも分解しにくいもので、処理が難しく水質汚濁の大きな原因となっています。そ

のうえ動物や人体にも有害で、^{はつがんせい}発癌性も強く皮膚あれを起こす原因ともなっています。

近年問題視されているのが、赤潮等の原因となる水の富栄養化です。窒素やリンなどの^{えいようえんるい}栄養塩類が、プランクトンや水性植物の異常繁殖を引き起こし、それらの死骸・排泄物が再び栄養塩類に分解されるといふ悪循環により、死の水という^{さんけつ}酸欠状態を生み出し、魚の住めない状況をつくっていくのです。こうした富栄養化の元凶とされるものが私たちの家庭排水です。例えば揚げ物廃油 500 ミリリットルで、220,000 リットル以上の水がないと魚がすめない状況に追い込まれると言われます。

また農業用水には、いうまでもなく農薬と余剰化学肥料が含まれていますが、これは直接河川、海域へ流れ出るためその影響も大きくなります。

「生態系の破壊」

高速道路やゴルフ場・宅地化などで、広大な山林を破壊してその保水力を減らし、大地をコンクリートで固め、大規模に海を埋め立てて、多種多様な生物の生きる場を奪い、おまけに農薬で雑草や昆虫・小鳥の大量殺戮^{さつりく}をやってしまった人間の行為は、生態系（エコシステム）の破壊をしていることを忘れてはなりません。生物と環境は構造的なまとまりと相互関係によって存在しているのです。例えば太陽の光と熱・水・土・大気などの条件のもとで、動物が分解し、それを植物が吸収するといった、生命の循環・流れの生態系を、人間は破壊し、奪い尽くしているのです。したがって多くの生命が果たしてくれた、水や大気の浄化作用を壊してしまい、また自然破壊が予期せぬ洪水、山崩れなどの災害を多発させています。こうして水や大気の浄化作用を妨げた人間は、トリハロメタン等の発癌性物質を含む、危険な水道水を飲まされる結果となったのです。しかもそれは、その原因を作った人間にとどまらず、すべての生命体に影響を及ぼしています。

(ささえあうなかま 連研ノート D の法座)

臓器移植

疾病や外傷によって臓器が機能しなくなった場合、自己または他人の臓器を移植することに。皮膚・角膜・血管・神経の移植は、以前から行われ、最近では、^{じんぞう}腎臓・^{こつすい}骨髄・^{しんぞう}心臓・^{かんぞう}肝臓などの移植も行われる。

(広辞苑)

格差（社会）

これまでの「一億総中流」が崩れ、所得や教育、職業などさまざまな分野において各差が広がり二極化が進んだといわれる。市場原理を重視し、改革・規制緩和を進めた小泉政権の負の側面との指摘もある。受賞者は、「格差」をいち早く指摘した社会学者の山田昌宏教授。

(現代用語の基礎知識 新語・流行語大賞より)

脳死

^{のうし}脳幹を含めた脳全体のすべての機能が^{ひかぎやくてき}非可逆的に停止した状態。臓器移植などの医療技術の進歩に伴って問題とされるに問題とされるに至ったが、脳死を確実に診断する

方法と基準および脳死を即個体の死と見なし得るか否かについて、我が国には、なお種々の意見があり一致していない。

(広辞苑)

原発

「原子力(放射能)の問題」

原子炉施設や再処理工場からは、放射性物質に汚染された、核廃棄物がかならず生じます。特に高レベルで半減期が千年から何万年と言う、放射能による核廃棄物には問題が多く、これらの処理、処分方法は、技術的に完全に解決されたとはいえません。ドラム缶などに封入して投棄または貯蔵していますが、自然環境中にストロンチウム、セシウムなど有害放射性物質が漏れる例が多くあります。このように元に戻らない使用不可能な放射能は、現在はもちろんのこと将来へ、生物や子孫に負の遺産をのこすものであります。

このように今や、50億年の地球の歴史と、35億年にわたる無数の生物達の働きによって、支えられ整えられてきたこの地球環境の調和は、その生物の一つにすぎない人間によって、近代のわずかな期間に破られる危機にみまわれています。

近代は人間に科学という武器をもたらせました。人間はその武器によって大量生産を可能にし、大量生産によって大量消費を当然のこととしました。ここに人間のあり方という環境破壊の原因を見ることができます。

人間がその生物の一つにすぎないということは、地球は人間が存在しなくとも地球たりうるのに対し、人間は、地球が存在しなければ存在しえないということです。

(ささえあうなかま 連研ノートDの法座)

門主

法灯を伝承して私たちの宗門を統一される方を、「門主」といいます。門主は本願寺住職があたります。

宗門の伝灯は、親鸞聖人の孫である第二代如信上人から第三代覚如上人に受け継がれ、以降、聖人の子孫を宗主として継承されてきました。門主を退かれた方を「前門」といいます。

「新門」は、つぎに門主になれる方であり、門主を補佐される方です。新門は本願寺嗣法があたります。

「裏方」は、本願寺坊守(本願寺住職の配偶者)があたり、門主を補佐されます。
(浄土真宗必携 み教えと歩む)

平和

①やすらかにやわらぐこと。おだやかで変わりがないこと。②戦争がなくて世が安穏であること。

(広辞苑)

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

宗門として、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、毎年9月18日に、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において修行しています。

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑とは、第2次世界大戦で海外における戦没軍人及び一般邦人のご遺骨を納めた「無名戦没者の墓」として昭和34年3月28日に創建されました。平成26年5月現在360,096柱が、六角堂内（写真）に安置されています。毎年5月に厚生労働省主催の慰霊行事として拝礼式が、また、年間を通じて各種団体主催の慰霊行事が随時行われています。

ヤスクニ

「ヤスクニ問題」とは、「靖国神社」の国家護持など、新憲法下の信教の自由や政教分離に関する問題と「氏神」など身近な神社が抱える地域的な問題、さらに「弥陀一仏」「神祇不拝」の浄土のみ教えに立ちかえる教団の課題として問われているものです。教団では、これらの個々の問題を明らかにしながら、課題を克服するため「靖国」ではなく「ヤスクニ」と表しています。

（共にあゆむ47号・神祇不拝）

靖国

「靖国」の語は「安国」と同義とされますが、「安国」「護国」を避け、「靖国」という新語を作ったのです。「安国」「護国」は、元来仏教の言葉として定着してしまっていたからです。改称によって、靖国神社では、国（天皇制国家）が主役となり、個々の忠死者の魂が主役であった招魂社から、「国家護持」を第一主義とする神社へと転化していきました。

（ブックレット基幹運動No.5 平和シリーズ①平和問題

・ヤスクニ問題研修カリキュラム 〈2〉靖国神社の性格より）

靖国神社

靖国神社創建の歴史は明治維新の内戦（戊辰戦争）ときに、天皇側に立って旧幕府側との戦い死亡した人々の「霊を慰める」ために、1869（明治2）年、九段下に東京招魂社に創建されたことに始まる。その後、西南の役終了後、1879（明治12）年に靖国神社と改称され、別格官幣社として格付けされ、1945（昭和20）年の敗戦まで陸・海軍省の管轄の下におかれ、戦没者を天皇制国家の守護神として祀る、まさに「軍の神社」であった。敗戦後は東京都知事所轄の単位法人で、神社本庁の下部機構の単位団体となっている。

（ブックレット基幹運動No.5 平和シリーズ①平和問題

・ヤスクニ問題研修カリキュラム 用語解説）

◆結

（であい：問い11～12）

連研

実践運動編 3頁参照

無縁社会

家族、ふるさと、そして会社といった人と人とのつながりが切れていること、それが、

「無縁」。家族・地域コミュニティが人々の生活を支える機能を十分にもたなくなつた状況を示す言葉。2010年に社会問題化。

(現代用語の基礎知識)

「^{むえん}無縁社会」というNHKが制作した番組において年間で3万人以上が、^{こどくし}孤独死している現状を報道しました。誰にも気づかれず亡くなり、身元すら判明しないまま火葬され、無縁墓地に送られる現実に、多くの人々が衝撃を受けた。

きずな（絆）

①馬・犬・^{たか}鷹など、動物をつなぎとめる綱。②断つにしのびない^{おんあい}恩愛。離れがたい情実。ほだし。

(広辞苑)